

所属・氏名（ 助産学専攻科 氏名：北村 万由美 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 実習指導者が認識する分 娩介助実習の実情 《筆頭論文》	共著	2021 年 4 月	インターナシヨ ナル NursingCare Research, 20(1)	実習指導者が認識する分娩介助実習の 実情を明らかにすることを目的に、自 記式質問紙調査を用い内容分析を行っ た。分娩介助実習では今後、臨床と教 育機関との連携強化や助産師の生涯学 習の推進、さらに夜間の実習指導体制 や学生の休息の確保等、実習環境の整 備・改善の必要性が示唆された。 (総ページ数：10 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
2	(学術論文) 分娩介助実習における助 産診断に関する助産師の 教授活動 《筆頭論文》	共著	2019 年 4 月	母性衛生 第 60 巻 1 号, 39-46	分娩介助実習において助産診断を指導 する助産師の教授活動を明らかにする ことを目的に、半構造化面接法を用い 内容分析を行った。助産師は学生の思 考する力や判断する力を育て、刻一刻 と変化する分娩場面をエビデンスに基 づき診断ができるよう、学生自身の内 省を促す指導をしていることが明らか になった。 (総ページ数：8 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
3	(学術論文) 分娩介助実習における倫 理的配慮に関する助産師 の教授活動 《筆頭論文》	共著	2019 年 1 月	母性衛生 第 59 巻 4 号, 810-817	分娩介助実習において倫理的配慮を指 導する助産師の教授活動を明らかにす ることを目的に、半構造化面接法を用 い内容分析を行った。助産師は学生に 産婦を尊重しながら新しい命を繋ぎ家 族を形成していく過程を支える助産師 の役割を指導していた。また助産師と しての責務と使命感を伝えアイデンテ ィティの確立を促していた。さらに学 生を尊重し成長した学生を信頼するこ とを意識しながら実習指導を実践して いることが明らかになった。 (総ページ数：8 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般
4	(学術論文) 分娩介助実習における助 産師の教授活動（第 1 報） －分娩介助技術－ 《筆頭論文》	共著	2018 年 1 月	母性衛生 第 58 巻 4 号, 524-531	分娩介助技術を指導する助産師の教授 活動を明らかにすることを目的に、半 構造化面接法を用い内容分析を行っ た。分娩介助実習では、刻一刻と変化 する分娩場面を学生と共有しながら、 急な対応が求められる時はリアルタイ ムに指示をする、手に手を添えて共に 行う、見守る、モデルを示すなどを巧 みに使い分けながら実習指導を実践し ていることが明らかになった。 (総ページ数：8 頁) 論文著者名：北村万由美・江口瞳 担当部分：全般